

2026 年電波伝搬実験

JJ1SXA/池

伝搬実験も、もう余り遠い所には行けないしと、色々模索して見たが適当な所が見つからない…というわけで、もう 1 回昨年と同じ場所に行き、宿泊の温泉は別の所を選ぶことで決定。

昨年は出発予定時刻を 20 分も遅れて出発したため、現着したら実験開始の 9 時までに余り余裕は無かったので、今年は遅れず出発と思っていたが、結局 10 分遅れの出発となった、新青梅街道から圏央道と進行、久保木さんはもう相当遠方へ行っているようだ、木村さんとも挨拶、その後、東北道に入り矢板北スマート IC から県道 272 号線に出て、「下太田交叉点」を左折、関谷街道・県道 30 号線、「泉交叉点」を左折、八方道路・県道 56 号線と進み、大間々台駐車場へだが、ナビの設定を間違ったらしく、到着地まで数キロの所で変なところに誘導されてしまい、かなりの時間ロス、実験開始時間に遅刻してしまい、心配をかけてしまった。

悪いことは重なるもので、固定していないリグを少し動かした時、どこか分からないボタンに触って、モニターの画面が変わってしまった、復帰するのに悪戦苦闘、更に時間を費やした。(昨年と同じパターン)

何とか復帰して受信ができるようになり、途中から実験の仲間入りをさせてもらえた、だが、パワーが出ていない、現着遅れからのトラブル続き、原因究明もままならず、そのまま実験終了。

1エリア移動の、VWB、JWV、SBK 各局の信号はおまけなしの 51 で受信できていた、パワーがまともに出ていれば、楽々交信できたはず、迷惑をかけました。

パワー不足の原因は、アンテナケーブルのコネクターが不良になっていたようだ、40年も使っていれば、それも当たり前か？

昨年に続き、今年も同じようなトラブルで、不満足な伝搬実験でした、来年は遠出できる自信が無いので、今年最後の遠出の伝搬実験だったかも知れないのに有終の美を飾れなかった、残念！

実験終了後は、今宵の宿「塩原温泉」へ、「塩原温泉郷公式サイト」によると…多彩な温泉と旬の味覚、四季折々の絶景が楽しめる源泉遺産塩原温泉郷は、栃木県北部の広大な那須野が原から、北西の方角に連なる山中に分け入った箒川の溪谷沿いに連なる 11 地区の温泉地の総称です。温泉の発見は西暦 806 年といわれており、1200 年以上の歴史を刻みながら、訪れる人々の心と体を癒してきました。

古くから塩原十一湯(じゅういちとう)と呼ばれる湯本が点在し、約 150 の源泉から湯が湧き出しています。…となっている。

宿泊の温泉の泉質は「塩化物・炭酸水素塩泉」とのことだが、そんなことはどうでも良く、何もかも忘れて、広い湯船で「あぁいい湯だなあ〜」

(2026 年 6 月記)